



DIGITAL PIANO
P - 2 2 5

取扱説明書

ご使用の前に必ず5~7ページの「安全上のご注意」をお読みください。

JA

このたびは、ヤマハ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この楽器は、コンパクトで持ち運びでき、場所を問わず本格的なピアノ演奏を楽しめる
電子ピアノです。この楽器に搭載された機能を十分にご活用いただけるよう、本書をよくお読み
になってからご使用ください。
また、お読みになったあとも、いつでもご覧になれるところに大切に保管してください。

もくじ

説明書について	3	演奏に伴奏を付ける(リズム)	19
付属品	4	演奏に便利な設定をする	20
特長	4	音に関する設定をする	20
安全上のご注意	5	タッチ感度を設定する	20
各部の名前と機能	10	演奏を録音する	21
ご使用前の準備	13	録音する	21
電源の準備	13	ユーザー・ソングを削除する	21
電源を入れる/切る	13	他の機器と接続する	22
基本操作	14	スマートデバイスアプリを使う	22
鍵盤を使った操作	14	Bluetooth対応機器のオーディオ再生音を 楽器のスピーカーで聞く	22
バックアップと初期化	14		
いろいろな音色で演奏する	15		
音色を選ぶ	15		
異なるグループの2つの音色を 重ねて弾く(デュアル)	15		
2人で一緒に弾く(デュオ)	16		
音色デモ曲を聞いて音色の特徴を確認する	16		
メトロノームを使う	17		
曲(ソング)を再生する	18		
右手または左手パートを消音して再生する	18		
		資料	
		困ったときは	23
		仕様	24
		索引	25
		ソング/リズム一覧	26
		P-225 全機能/操作の紹介	27

機種名(品番)、製造番号(シリアルナンバー)、電源条件などの情報は、製品の底面にある銘板または銘板付近に表示されています。製品を紛失した場合などでもご自身のものを特定していただけるよう、機種名と製造番号については以下の欄にご記入のうえ、大切に保管していただくことをお勧めします。

機種名

製造番号

説明書について

この楽器には、以下の説明書が用意されています。



製品に付属

● 取扱説明書(本書)

この楽器の基本的な機能の使い方を説明しています。

表記について

⚠️ 警告	「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠️ 注意	「傷害を負う可能性が想定される」内容です。
ご注意	「製品の故障、損傷や誤動作、データの損失の発生が想定される」内容です。
NOTE	知っておくとよい補足情報です。



ウェブサイトで提供

● リファレンスマニュアル



<https://manual.yamaha.com/mi/kb-ekb/p-225/rm/>

応用的な機能も含め、この楽器の全機能の使い方を説明しています。

各機能や操作方法の詳細を知りたい場合は、リファレンスマニュアルをご覧ください。
リファレンスマニュアルでのみ説明している機能については、27ページをご覧ください。

● クイックオペレーションガイド



<https://manual.yamaha.com/mi/kb-ekb/p-225/qg/>

鍵盤に割り当てられた機能の一覧表です。

印刷して譜面立てに置き、操作早見表としてご活用いただけます。

● スマートピアニスト ユーザーガイド

この楽器と連携して使用できるスマートデバイスアプリ「スマートピアニスト」(22ページ)の接続方法や使い方を説明しています。

● スマートデバイス接続マニュアル

楽器をスマートフォンやタブレット端末などのスマートデバイスと接続する方法を説明しています。

● コンピューターとつなぐ

楽器とコンピューターを接続する方法などを説明しています。

すべての説明書を、ヤマハのウェブサイトでご覧いただけます。
製品名などを入力して、検索してください。

ヤマハ | 取扱説明書 — サポート・お問い合わせ

<https://jp.yamaha.com/support/manuals/>

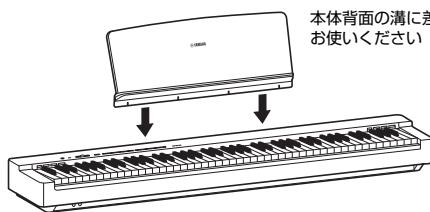
* 「MIDI入門」と入力すると、MIDIの基礎知識を説明した資料を確認できます。



付属品（お確かめください）

- 取扱説明書(本書) × 1
- クラシック名曲50選(楽譜集) × 1
- 保証書 × 1
- フットスイッチ × 1
- 電源アダプター × 1
- 製品登録のご案内 × 1

- 譜面立て × 1



本体背面の溝に差し込んで
お使いください

特長



より本格的なピアノ演奏を実現する音と鍵盤

ヤマハ最高峰のコンサートグランドピアノ「CFX」からサンプリングした音色と、アコースティックピアノのような弾き心地を実現したグレードハンマーコンパクト(GHC)鍵盤。コンパクトなデザインでありながらも本格的なピアノ演奏をお楽しみいただけます。



スマートデバイスアプリを使って広がる楽しみ方 ▶ 22ページ

この楽器は、「スマートピアニスト」「Rec'n' Share」という2つのアプリに対応しています。アプリと使うと、楽器をもっと便利に、もっと楽しく使えます。
対応アプリの詳細は22ページをご覧ください。



Bluetooth®対応機器のオーディオデータを再生できるBluetoothオーディオ機能 ▶ 22ページ

Bluetooth対応スマートフォンやタブレット端末などのスマートデバイス内のオーディオデータを、この楽器で再生できます。再生したオーディオデータに合わせて演奏を楽しんだり、楽器をオーディオ機器の代わりにして、音楽鑑賞を楽しんだりできます。



ステージで演奏するときに便利な機能を搭載 ▶ 20ページ

コンパクトで持ち運び可能なこの楽器には、ステージやライブスペースで演奏する時に便利な以下の機能を搭載しています。

- サウンドブースト：ほかの楽器と演奏したり、賑やかな環境で演奏したりするときに自分の音を力強く引き立たせます。
- トランスポーズ：ほかの楽器と演奏するときに、ほかの楽器に合わせてキー(調)を変えられます。

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。
お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。



注意喚起を示す記号



禁止を示す記号



行為を指示する記号

■ 「警告」「注意」について

誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を区分して掲載しています。



警告

「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

「傷害を負う可能性が想定される」内容です。



警告

電源



電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。
また、電源コードに重いものをのせない。

電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。



雷が鳴っているときは、本製品や電源プラグに触らない。

感電の原因になります。



電源は必ず交流100Vを使用する。

エアコンの電源など交流200Vのものがあります。

誤って接続すると、火災、感電、または故障の原因になります。



電源アダプター／電源コードは、必ず付属のもの(24ページ)を使用する。

火災、やけど、または故障の原因になります。



付属の電源アダプター／電源コードをほかの機器に使用しない。

火災、やけど、または故障の原因になります。



電源プラグを定期的に確認し、ほこりが付着している場合はきれいに拭き取る。

ショートして火災や感電の原因になります。

必ず実行



必ず実行

電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込む。

差し込みが不十分のまま使用すると感電したり、プラグにはこりが堆積したりして火災ややけどの原因になります。



必ず実行

電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。

万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。電源を切った状態でも電源プラグをコンセントから抜かないかぎり電源から完全に遮断されません。



たこ足配線をしない。

音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して火災の原因になります。

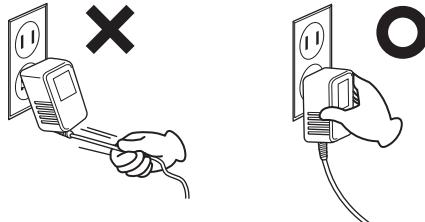
禁止



必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。

電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



長期間使用しないときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

火災や故障の原因になります。

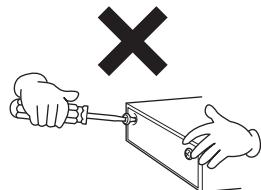
電源プラグを抜く

分解禁止



本製品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、けが、または故障の原因になります。本製品の内部には、お客様が修理や交換できる部品はありません。



水に注意



禁止

- 浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところや水がかかるところで使用しない。
- 本製品の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。
- 電源アダプターは、室内専用のため屋外では使用しない。

内部に水などの液体が入ると、火災や感電、または故障の原因になります。



禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電のおそれがあります。

火に注意



禁止

本製品の近くで、火気を使用しない。

火災の原因になります。

ワイヤレス機器



禁止

- 医療機器の近くなど、電波の使用が制限された区域で使用しない。
- 心臓ペースメーカーや除細動器の装着部分から15cm以内で使用しない。

本製品が発生する電波により、動作に影響があるおそれがあります。

異常に気づいたら



必ず実行

下記のような異常が発生した場合、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- 電源コード／プラグが破損した場合
- 製品から異常なにおいや煙が出た場合
- 製品の内部に水や異物が入った場合
- 使用中に音が出なくなった場合
- 製品に亀裂、破損がある場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または31ページの修理ご相談センターに点検や修理をご依頼ください。

⚠ 注意

設置



不安定な場所や振動の多い場所に置かない。
本製品が転倒して故障したり、けがをしたりする原因になります。

禁止



本製品を移動するときは、必ずすべての接続ケーブルを外した上で行う。
ケーブルをいためたり、お客様やほかの方々が転倒したりするおそれがあります。

必ず実行



指定のスタンドを使用する。また、付属のネジがある場合は必ずそれを使用する。
本製品が転倒し破損したり、内部の部品を傷つけたりする原因になります。

必ず実行

接続



ほかの機器と接続する場合は、すべての電源を切った上で行う。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ずすべての機器の音量(ボリューム)を最小にする。
聴覚障害、感電または機器の損傷の原因になります。

必ず実行



演奏を始める前に機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げて、適切な音量にする。
聴覚障害または機器の損傷の原因になります。

必ず実行

取り扱い



禁止

本製品のパネル、鍵盤のすき間から金属や紙片などの異物を入れない。

火災、感電、故障や動作不良の原因になります。



禁止

本体の上にのったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。

本体が破損したり、お客様やほかの方々がけがをしたりする原因になります。



禁止

大きな音量で長時間使用しない。

聴覚障害の原因になります。特にヘッドホンを使用する場合はご注意ください。万一、聴力低下や耳障りを感じた場合は、専門の医師にご相談ください。



必ず実行

本製品をお手入れをするときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

感電の原因になります。

- データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

使用後は、必ず電源を切りましょう。

[](スタンバイ/オン)スイッチを切った状態(電源ランプが消えている)でも微電流が流れています。[](スタンバイ/オン)スイッチが切れているときの消費電力は、最小限の値で設計されています。この製品を長時間使用しないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

ご注意

「故障、損傷や誤動作、データの損失の発生が想定される」内容です。以下の内容をよく読んでお使いください。

■ 製品の取り扱いに関する注意

- ・テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しないでください。楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。
- ・スマートフォン、タブレット端末などのスマートデバイスのアプリと一緒に使用する場合は、通信によるノイズを避けるためスマートデバイスの機内モードをオンにしてお使いいただくことをおすすめします。機内モードをオンにすると、Bluetoothの設定がオフになることがあります。設定がオンになっていることを確認してお使いください。
- ・直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しないでください。本体が変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります(5°C~40°Cの範囲で動作することを確認しています)。
- ・本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。本体が変色/変質する原因になります。
- ・この楽器は、背面にスピーカーが内蔵されています。時計、磁気カードなど磁気の影響を受けるものを本体の上に置かないでください。破損の原因になります。

■ 製品のお手入れに関する注意

- ・お手入れの際は、乾いた柔らかい布、または水を含ませた柔らかい布を固くしまってご使用ください。ベンジンやシンナー、アルコール、洗剤、化学ぞうきんなどを使用すると、変色/変質する原因になりますので、使用しないでください。

■ データの保存に関する注意

- ・この楽器の一部のデータ(14ページ)は自動的に保存され、電源を切っても消えません。ただし保存されたデータは故障や誤操作などのために失われることがあります。

お知らせ

■ データの著作権に関するお願い

- ・この製品に搭載されている「コンテンツ」^{*1}の著作権は、ヤマハ(株)もしくはその著作権者に帰属します。私的使用のための複製など著作権法上認められている場合を除いて、権利者に無断で「複製または転用」^{*2}することは禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。

なお、製品本来の使用を通して、上記コンテンツを使用した音楽制作や演奏を行い、それらを録音して配布する場合、配布方法が有償、無償を問わずヤマハ(株)の許諾は必要ありません。

*1 : 「コンテンツ」には、コンピュータープログラム、サウンドデータ、伴奏スタイルデータ、MIDIデータ、WAVEデータ、音声記録データ、楽譜や楽譜データなどを含みます。

*2 : 「複製または転用」には、この製品に内蔵または同梱されたコンテンツそのものを取り出すこと、もしくは酷似した形態で記録/録音して配布することを含みます。

■ 製品に搭載されている機能/データに関するお知らせ

- ・内蔵曲は、曲の長さやイメージが原曲と異なる場合があります。

■ 取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

- ・この取扱説明書に掲載されているイラストは、すべて説明のためのものです。
- ・Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。ヤマハ株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。



- ・MIDIは社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。
- ・その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

■ 調律について

- ・調律の必要はありません。電源を入れるといつでも正しいピッチ(音の高さ)でお使いいただけます。

■ 廃棄に関するお知らせ

- ・本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。

Bluetoothに関するお知らせ

Bluetoothとは、2.4 GHz帯の電波を利用して、対応する機器と無線で通信を行うことができる技術です。

Bluetooth通信の取り扱いについて

- Bluetooth対応機器が使用する2.4 GHz帯は、さまざまな機器が共有する周波数帯です。Bluetooth対応機器は、同じ周波数帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を採用していますが、他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断されることがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、電波状況、機器の種類により、通信速度や通信距離は異なります。
- 本機はすべてのBluetooth機能対応機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。

製品の取り扱いに関する注意

- 本製品は、日本国内でのみ使用できます。
- 本製品は、日本電波法に基づく認証を受けた無線機器を内蔵しております。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は不要です。ただし、本製品に以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。
 - 本製品を分解/改造する
 - 本体底面の銘板をはがしたり、消したりする

無線に関するご注意

この製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。

各部の名前と機能

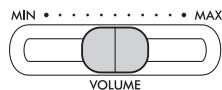
[](スタンバイ/オン)スイッチ、電源ランプ(13ページ)

電源のスタンバイ/オンを切り替えます。

電源が入ると、スイッチ右のランプが点灯します。

[VOLUME]スライダー

楽器全体の音量を調節します。

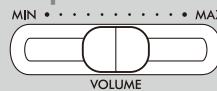


小さくなる ← → 大きくなる

[DEMO/SONG]ボタン (16、18ページ)

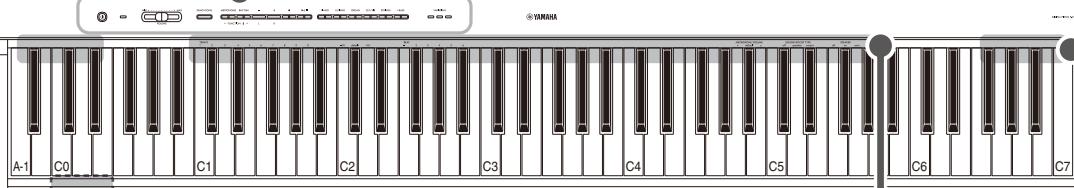
音色デモ曲や内蔵曲を再生します。

本体前面



- + ⋮ ▶/■

FUNCTION * L R



[PHONES]端子

ヘッドホンを接続する端子です。ヘッドホンを2本同時に使えます。1本だけ使う場合は、どちらの端子に接続してもかまいません。

△ 注意

- 大きな音量で長時間ヘッドホンを使用しないでください。聴覚障害の原因になります。



PHONES

変換プラグ
(3.5 mm ⇒ 6.35 mm)

ステレオミニ
プラグ(3.5 mm)

鍵盤操作表示

(14、17~20ページ)

ボタンと鍵盤を組み合わせて操作する

この楽器は、一部の鍵盤に機能が割り当てられています。一部のボタンを押したまま、機能が割り当てられた鍵盤を押すと、機能をオン/オフしたり、値を設定したりできます。

一部の機能は、ここ表示を見ながら操作できます。

[METRONOME] ボタン(17ページ)

メトロノームを鳴らしたり、止めたりします。

[RHYTHM] ボタン(19ページ)

リズム(打楽器音とベース音)を鳴らしたり、止めたりします。

リズムとは

この楽器には、打楽器音とベース音で構成された「リズム」が内蔵されています。[RHYTHM] ボタンを押すと打楽器音が鳴り、両手で演奏するとベース音が鳴ります(19ページ)。

ファンクション**[FUNCTION] ボタンとして使う**

[METRONOME] ボタンと[RHYTHM] ボタンを同時に押したまま、3秒以内に該当の鍵盤を押すと、さまざまな設定ができます。

3秒以上押すと、スマートフォンなどのBluetooth対応機器とのペアリングを開始します(22ページ)。

[●](録音)ボタン(21ページ)

演奏を録音します。



VARIATION

[▶/■](再生/停止)ボタン(18、21ページ)

録音した演奏(ユーザーソング)を再生/停止したり、内蔵曲を停止したりします。

本体背面

12ページをご覧ください。

本体スピーカー

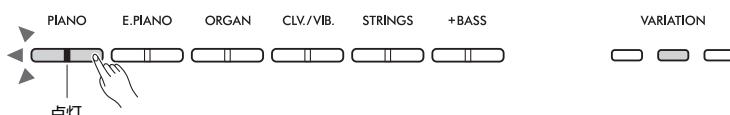
このスピーカーから、音を出す(on)、出さない(off)、ヘッドホン接続時の音を出さない(auto)を設定できます。

詳細はヤマハウェブサイト(本書3ページ記載)上の「リファレンスマニュアル」をご覧ください。

初期設定: オート

音色ボタン(15、16ページ)**音色を選ぶ**

お好みの音色(グループ)のボタンを押して選びます。



1つのボタンで4つの音色を選べます。同じボタンを押すたびに、[VARIATION]ランプが点灯したり消えたりして、4つの音色を順番に選べます。

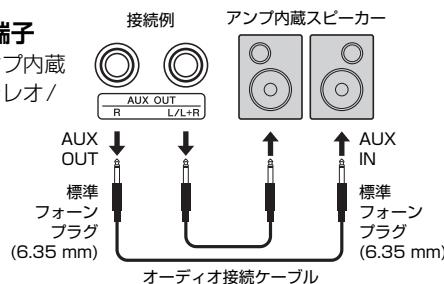
どのような音色が入っているかは、15ページの「音色リスト」をご覧ください。

△ 注意

- 他の機器と接続するときは、すべての機器の電源を切った上で行ってください。また、電源を入れる前に、必ず機器のボリュームを最小(0)にしてください。感電、聴力障害または機器の損傷のおそれがあります。

AUX OUT [R] [L/L+R] 端子

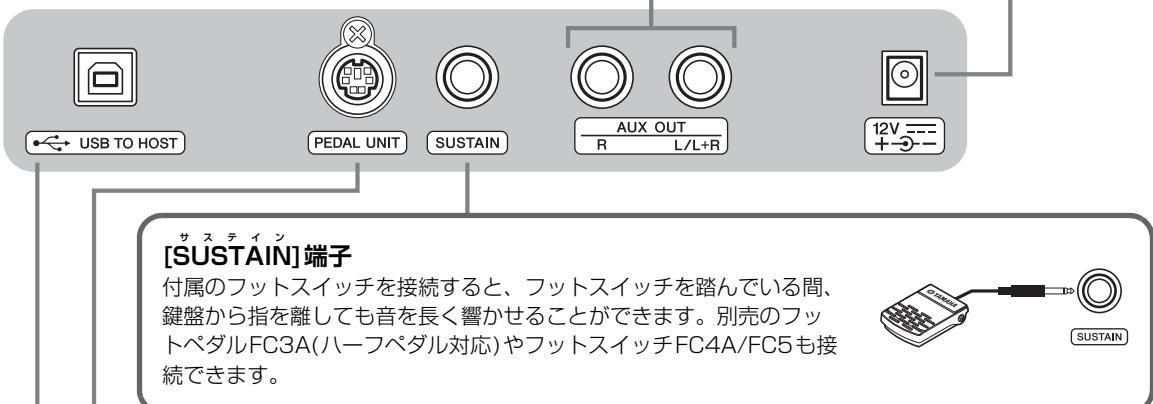
大きな音を出したい時に、アンプ内蔵スピーカーなどを接続するステレオ/モノラル出力用端子です。



DC IN 端子(13ページ)

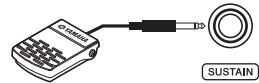
付属の電源アダプター(24ページ)を接続します。

本体背面(後ろから見た図です)



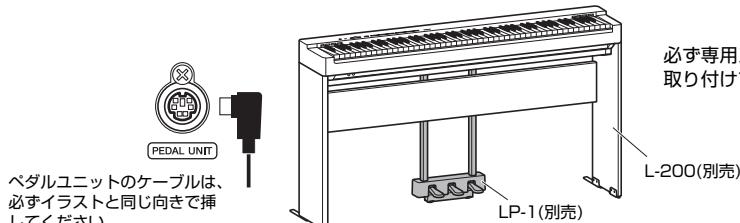
[SUSTAIN] 端子

付属のフットスイッチを接続すると、フットスイッチを踏んでいる間、鍵盤から指を離しても音を長く響かせることができます。別売のフットペダルFC3A(ハーフペダル対応)やフットスイッチFC4A/FC5も接続できます。



[PEDAL UNIT] 端子

別売のペダルユニットLP-1(ハーフペダル対応)を接続します。ペダルに関する詳細は、ヤマハウェブサイト(本書3ページ記載)上の「リファレンスマニュアル」をご覧ください。



ハーフペダル機能とは：ペダルの踏み加減で音の伸び具合を調節できる機能です。

[USB TO HOST] 端子

市販のUSBケーブルを使って、コンピューター やスマートデバイスと接続します。接続すると、MIDI やオーディオの通信ができます。

接続例



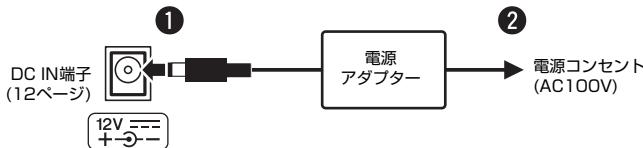
△ 注意

- USBケーブルは、3メートル未満のものをご使用ください。USB3.0は使用できません。
- 接続方法の詳細は、ヤマハウェブサイト(本書3ページ記載)の「コンピューターとつなぐ」や「スマートデバイス接続マニュアル」をご覧ください。

ご使用前の準備

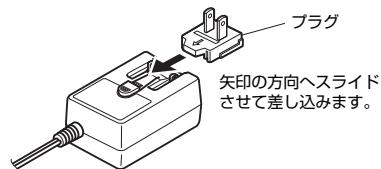
電源の準備

図の順序で電源アダプターを接続します。



⚠ 警告

- 電源アダプターは、必ず付属のもの(24ページ)をご使用ください。異なった電源アダプターを使用すると、故障、発熱、火災などの原因になります。このような場合は、保証期間内でも保証いたしかねることがございますので、十分にご注意ください。
- プラグが外れるタイプの電源アダプターは、必ずプラグを装着した状態で使用、または保管してください。プラグ部分だけをコンセントに差し込むと、感電や火災の原因になります。
- プラグが外れた場合は、内部の金属部分に触れないよう注意して、カチッと音がするまで完全に差し込んでください。
また異物が入らないようにご注意ください。感電やショート、故障の原因になります。
- 本体はコンセントの近くに設置し、異常を感じた場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。



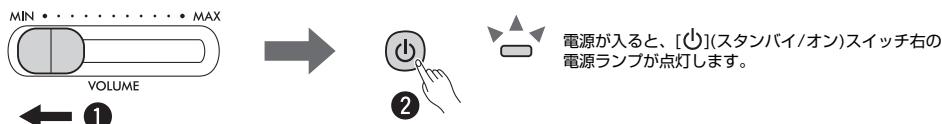
NOTE

- 電源アダプターを外すときは、電源スイッチを切ってから、逆の手順で行ってください。

電源を入れる/切る

① 音量を最小にします。

② [](スタンバイ/オン)スイッチを押して電源を入れます。



音量は鍵盤を弾いて確かめながら、徐々に上げてください。

電源を切るには、もう一度[](スタンバイ/オン)スイッチを押します(1秒)。

⚠ 警告

- 電源を切った状態でも微電流が流れています。この楽器を長時間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。

オートパワーオフ機能

この楽器は、電源の切り忘れによる無駄な電力消費を防ぐため、オートパワーオフ機能を搭載しています。

これは、楽器が15分操作されないと自動的に電源が切れる機能です。

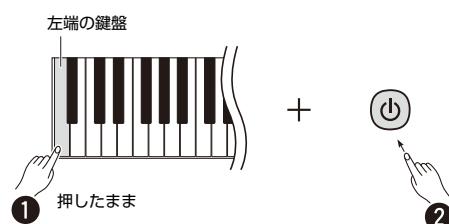
オートパワーオフ機能の有効/無効を切り替える方法は、ヤマハウェブサイト(本書3ページ記載)上の「リファレンスマニュアル」をご覧ください。

初期設定: 有効

オートパワーオフ機能の簡単解除

左端の鍵盤を押したまま電源を入れると、オートパワーオフ機能が解除された状態で電源がオンになります。

この場合、[](録音)ランプが3回点滅します。

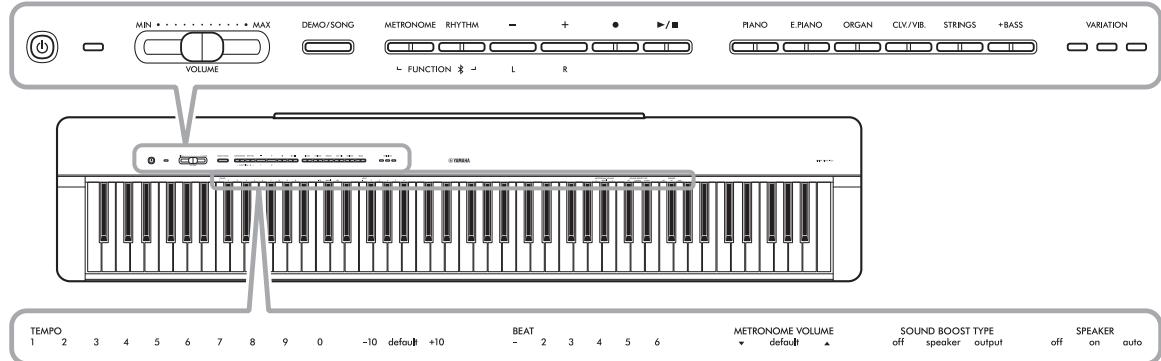


基本操作

鍵盤を使った操作

この楽器は、本体前面にあるボタンを押すだけでなく、ボタンと鍵盤を組み合わせて操作して使います。

この楽器の一部の鍵盤には、機能が割り当てられています。該当のボタンを押したまま、その鍵盤を押すと、機能をオン/オフしたり、値を設定したりできます(17~20ページ)。



一部の機能は、ここに設定値が印刷されているので、内容を見ながら鍵盤操作できます。

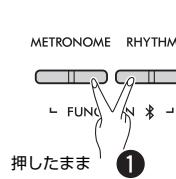
鍵盤を使った操作のみをまとめた「クイックオペレーションガイド」をヤマハウェブサイト(本書3ページ記載)で公開しています。

印刷いただき、譜面立てにおいて、操作早見表としてご活用いただけます。

鍵盤操作音のオン/オフを切り替えるには

鍵盤を使って操作するときに、操作音(クリック音、またはオン/オフや数値の読み上げ音声)が鳴ります。
[METRONOME] ボタンと [RHYTHM] ボタンを押したまま、左端または左端から2番目の鍵盤を押して切り替えます。

初期設定：オン



左端から2番目(オン)



バックアップと初期化

楽器の以下の設定やデータは、自動的にバックアップ(保存)されるので、電源を切っても消えません。

・ユーザーソング

・バックアップデータ：

メトロノーム/リズム音量、メトロノーム拍子、タッチ感度、チューニング、オートパワー機能、鍵盤操作音オン/オフ、スプリットポイント*、IACオン/オフ*、IAC効果のかかり具合*、イントロ/エンディング オン/オフ*、外部スピーカー(AUX OUT)音量設定*、ステレオフォニックオプティマイザー オン/オフ*、本体スピーカー オン/オフ*、ウォールEQオン/オフ*、Bluetoothオン/オフ*

* アスタリスク(*)が付いているデータについて詳しくは、ヤマハウェブサイト(本書3ページ記載)上の「リファレンスマニュアル」をご覧ください。

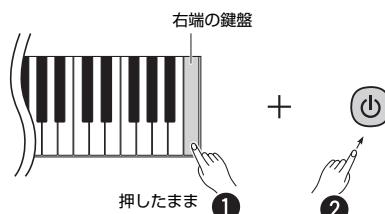
NOTE

- テンポの設定はバックアップされません。

バックアップデータを初期化するには

上記のバックアップデータを工場出荷時の状態に戻すことを「初期化」といいます。

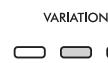
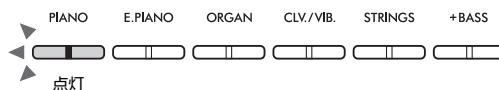
右端の鍵盤を押したまま、[](スタンバイ/オン)スイッチを押して電源を入れると、初期化されます。



いろいろな音色で演奏する

音色を選ぶ

お好みの音色(グループ)のボタンを押して選びます。



このイラストでは、[PIANO]の「バラードグランド」が選ばれています。

同じボタンを押すたびに、[VARIATION]ランプが点灯したり消えたりして、グループ内の音色を順番に選べます。

音色リスト

音色ボタン(グループ)		PIANO	E.PIANO	ORGAN	CLV./VIB.	STRINGS	+BASS
音色名	VARIATION	グランドピアノ	ステージエレピ	ジャズオルガン	クラビコード	ストリングス	アコースティックベース
	VARIATION	ライブグランド	DXエレピ	ロックオルガン	ビブラフォン	スローストリングス	エレクトリックベース
	VARIATION	バラードグランド	ビンテージエレピ	オルガン プリンシバル	ハープシコード 8'	クワイア	ベース&シンバル
	VARIATION	ライトグランド	シンセピアノ	オルガン トゥッティ	ハープシコード 8'+4'	シンセパッド	フレットレスベース

音色の特徴をつかむには、音色デモ曲を聞く(18ページ)か、ヤマハウェブサイト(本書3ページ記載)上の「リファレンスマニュアル」の「音色リスト(詳細版)」をご覧ください。

[+BASS]ボタンで音色を選ぶ(スプリット)

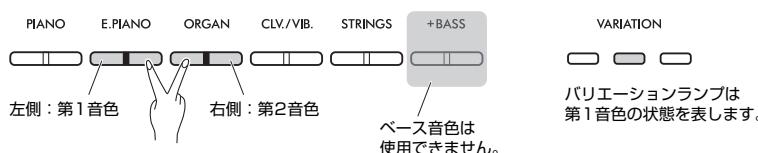
[+BASS]ボタンを押すと、左手側(F#2とその左側の鍵盤)の音色がベース音に切り替わります。これにより、左手と右手で異なる音色で演奏できます(スプリット機能)。ベース音色は、ボタンを押すたびに切り替わります。右手側の音色を選んでからお好みのベース音色を選んでください。



左右同じ音色に戻す(スプリット機能をオフする)には、いずれかの音色ボタンを押します。

異なるグループの2つの音色を重ねて弾く(デュアル)

重ねて演奏したい異なるグループの2つの音色をあらかじめ選んでおきます。その2つの音色ボタンを同時に押して、デュアル機能をオンにします。



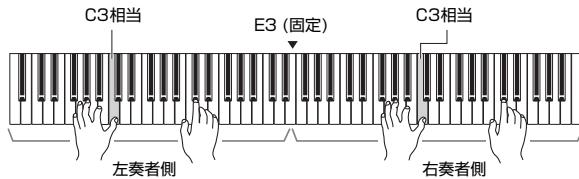
NOTE

- 同じボタンで選べる、同じグループの音色を2つ重ねることはできません。
- デュオ(16ページ)機能使用時は、デュアル機能を使えません。

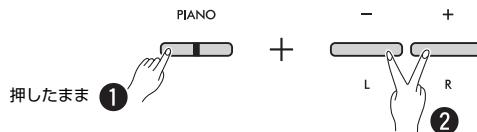
デュアル機能をオフするには、いずれかの音色ボタンを1つ押します。

2人で一緒に弾く(デュオ)

鍵盤を左右に分けて、同時に2人が同じ音色、音域で演奏できます。



デュオ機能をオン/オフするには、[PIANO]ボタンを押したまま、[−]、[+]ボタンを同時に押します。



[NOTE]

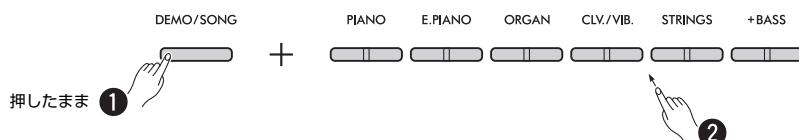
・ベース音色は選べません。

音色デモ曲を聞いて音色の特徴を確認する

[DEMO/SONG]ボタンを押すと、グランドピアノ(15ページ)音色のデモ曲から順に再生されます。



お好みの音色デモ曲から聞きたい場合は、[DEMO/SONG]ボタンを押したまま、聞きたい音色を選びます(15ページ)。



再生中に曲を変更する方法は18ページを、テンポを変更する方法は17ページをご覧ください。
再生を止めるには、[DEMO/SONG]ボタンまたは[▶/■](再生/停止)ボタンを押します。

エレクトリックベース、ベース&シンバル、フレットレスベース以外の音色すべて(15ページ)にデモ曲があります。
下記デモ曲は原曲を編集/抜粋したもので、その他はヤマハのオリジナルです。
(©Yamaha Corporation)

デモ曲リスト

音色名	曲名	作曲者
バラードグランド	6つの小品 第2番 間奏曲 op.118-2	J. プラームス
オルガン プリンシバル	オルガン小曲集「神のひとり子なる主キリスト」BWV 601	J.S.バッハ
オルガン トゥッティ	トリオ ソナタ 第6番 BWV 530	J.S.バッハ
ハープシコード 8'	チェンバロ協奏曲 第7番 BWV 1058	J.S.バッハ
ハープシコード 8'+4'	フランス組曲 第5番 ジーグ BWV 816	J.S.バッハ

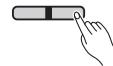
メトロノームを使う

メトロノームは、正確なテンポで練習するときなどに便利な機能です。

基本操作

[METRONOME] ボタンを押して、鳴らしたり止めたりします。

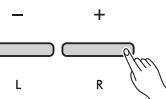
METRONOME



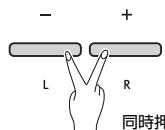
テンポを設定するには

設定範囲：5～280(初期設定120)

メトロノームが鳴っているときに[－]または[+]ボタンを押します。[METRONOME]ボタンを押したまま、一番左端の鍵盤を押すと、現在のテンポが音声(英語)で読み上げられます。



押し続けると値が連続して変わります。



同時に押しで初期設定に戻します。

[METRONOME]ボタンを押したまま、C1～A1の鍵盤を押して、数値で設定することもできます(下記鍵盤イラスト参照)。たとえばテンポ80は、G1(8)→A1(0)の順に鍵盤を押します。

メトロノームに関するさまざまな設定は、[METRONOME]ボタンを押したまま、該当の鍵盤を押して行います。各設定の初期設定など詳細は、ヤマハウェブサイト(本書3ページ記載)上の「リファレンスマニュアル」をご覧ください。

METRONOME



押したまま

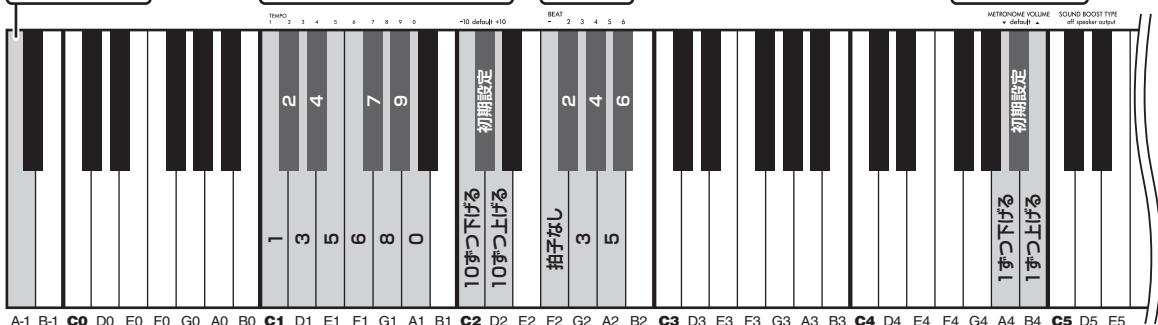
+

現在のテンポ
読み上げ(英語)

メトロノームのテンポ設定

拍子設定

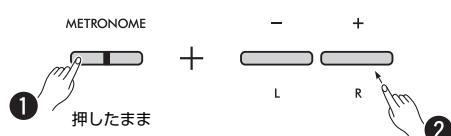
メトロノームの
音量設定



左端の鍵盤

曲(ソング)再生(16、18ページ)中にテンポを変更する

[METRONOME]ボタンを押したまま、[－]または[+]ボタンを押します。



押したまま

曲(ソング)を再生する

この楽器には、付属の楽譜集「クラシック名曲50選」の演奏データが入っています。好きな曲を選んで再生してみましょう。

基本操作

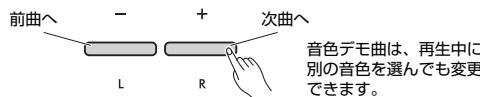
1. [デモ / ソング] ボタンを押したまま、聞きたい曲のC2～C#6のいずれかの鍵盤(下記参照)を押して、再生をスタートします。
選んだ曲から順番に連続再生します。

1曲をくり返し再生するには

[DEMO/SONG] ボタンを押したまま、くり返し再生したい曲の鍵盤を1秒以上押します。音色デモ曲(16ページ)、ユーザーソング(21ページ)はくり返し再生できません。

2. 再生をストップするには、[DEMO/SONG] ボタンまたは[▶/■](再生/停止)ボタンを押します。

再生中に曲を変更するには



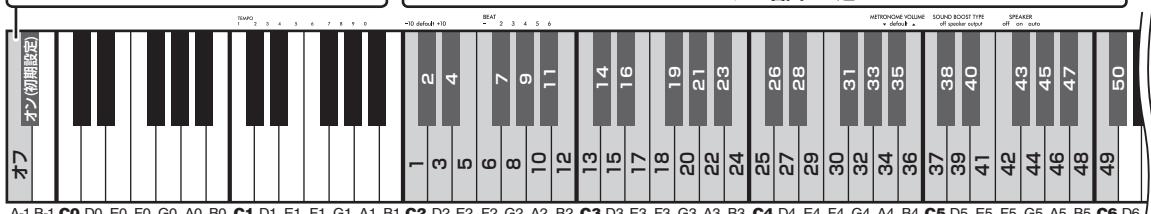
再生中にテンポを変更するには

17ページをご覧ください。

クイックプレイ

詳細はヤマハウェブサイト(本書3ページ記載)上の「リファレンスマニュアル」参照

クラシック名曲50選

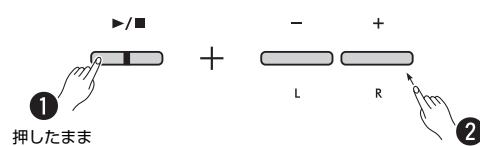


クラシック名曲50選 ソングナンバー / 曲名

1 カノン	11 愛のあいさつ	21 前奏曲(平均律第1巻第1番)	31 別れの曲	41 ユーモレスク
2 G線上のアリア	12 家路	22 メヌエット長調(J. S. バッハ)	32 革命のエチュード	42 アリエッタ
3 主よ、人の望みの喜びよ	13 シシリエンヌ	23 ピアノソナタ 第15番第1楽章	33 小犬のワルツ	43 タンゴ(スペインより)
4 きらきら星	14 月の光	24 トルコ進行曲 (W. A. モーツアルト)	34 ノクターン 第2番 変ホ長調	44 エンターテイナー
5 ピアノソナタ 第17番 「テンペスト」第3楽章	15 木星(組曲「惑星」)	25 ピアノソナタ 第8番 「悲愴」第2楽章	35 ノクターン 第20番 嬰ハ短調 [遺作]	45 メイブル・リーフ・ラグ
6 歓喜の歌	16 メヌエット(アイネ・クライネ・ナハトムジーク)	26 エリーゼのために	36 トロイメライ	46 垂麻色の髪の乙女
7 子守唄	17 メヌエットト長調 (L. v. ベートーヴェン)	27 ピアノソナタ 第14番 「月光」第1楽章	37 舟歌	47 アラベスク 第1番
8 華麗なる大円舞曲	18 トルコ進行曲 (L. v. ベートーヴェン)	28 即興曲 作品90 第2番	38 乙女の祈り	48 ケークウォーク
9 英雄ポロネーズ	19 ピアノ協奏曲 第1番 第2楽章	29 春の歌	39 愛の夢 第3番	49 ジュトウヴ
10 ラ・カンパネラ	20 くるみ割り人形メドレー	30 幻想即興曲	40 花の歌	50 ジムノベディ 第1番

右手または左手パートを消音して再生する

ソングの右手パート(R)、左手パート(L)のどちらかを消音(ミュート)して再生すると、鳴っているパートを聞きながらミュートしたパートを練習できます。ミュートするには、ソング再生中に[▶/■](再生/停止)ボタンを押したまま、ミュートしたいパート[R]または[L]ボタンを押します。



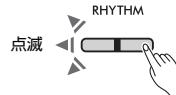
演奏に伴奏を付ける(リズム)

この楽器には、打楽器音とベース音で構成された「リズム」が内蔵されています(26ページ)。お好みの音楽ジャンルに合ったリズムを鳴らして、一緒に演奏してみましょう。

基本操作

1. [RHYTHM] ボタンを押して、リズムをスタートします。

打楽器音がイントロからスタートします。



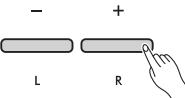
リズムを変更するには

[RHYTHM]ボタンを押したままF2～C4のいずれかの鍵盤を押します(下記参照)。

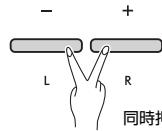
テンポを設定するには

設定範囲：5～280(初期設定120)

リズムが鳴っているときに[−]または[+]ボタンを押します。[RHYTHM]ボタンを押したまま、一番左端の鍵盤を押すと、現在のテンポが音声(英語)で読み上げられます。



押し続けると値が連続して変わります。



同時に押しで初期設定に戻します。

2. リズムに合わせて演奏しましょう。

両手で演奏すると、演奏に合わせてベース音が鳴ります。

3. [RHYTHM] ボタンを押してリズムをストップします。

リズムに関するさまざまな設定は、[RHYTHM]ボタンを押したまま、該当の鍵盤を押します。

各設定の初期設定など詳細は、ヤマハウェブサイト(本書3ページ記載)上の「リファレンスマニュアル」をご覧ください。

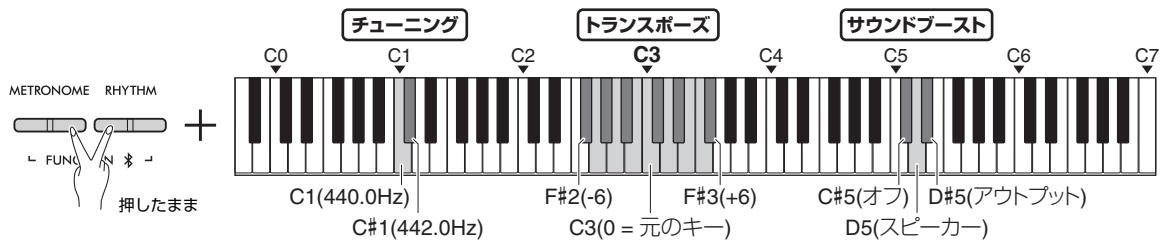
The diagram illustrates the keyboard's rhythm control section. At the top is the RHYTHM button. Below it are two sliders: TEMPO (ranging from 1 to 10) and BEAT (ranging from 2 to 6). To the left of the keyboard, there are three boxes: '現在のテンポ読み上げ(英語)' (Current Tempo Readout (English)), 'ベース音、イントロ/エンディングの設定' (Base Note, Intro/Ending Setting), and 'リズムのテンポ設定' (Rhythm Tempo Setting). The keyboard itself has labels for notes A1 through E5. Specific keys highlighted include C0, F0, G0, A0, B0, C1, D1, E1, F1, G1, A1, B1, C2, D2, E2, F2, G2, A2, B2, C3, D3, E3, F3, G3, A3, B3, C4, D4, E4, F4, G4, A4, B4, C5, D5, and E5. A bracket at the bottom left points to the leftmost keys and is labeled '左端の鍵盤' (Leftmost keys).

演奏に便利な設定をする

この楽器は、演奏に便利な以下のような機能も搭載しています。

以下の機能の詳細や、ほかの機能については、ヤマハウェブサイト(本書3ページ記載)上の「リファレンスマニュアル」をご覧ください。

音に関する設定をする



サウンドブースト(SOUND BOOST)

楽器の音量感をアップさせる機能です。ほかの楽器と演奏したり、賑やかな環境で演奏したりするときに自分の音を力強く引き立たせます。演奏する状況に合わせて、スピーカー、アウトプット、オフからお好みのタイプを設定することができます。

初期設定：オフ

トランスポーズ(移調)

弾く鍵盤を変えずに、半音単位でキー(調)を変更する機能です。

ほかの楽器と演奏するときに、ほかの楽器に合わせてキー(調)を変えられます。

たとえば、トランスポーズを「+5(F3)」に設定すると、「ド(C)」の鍵盤を弾いたときに、「ファ(F)」の音が出ます(ハ長調→ヘ長調)。

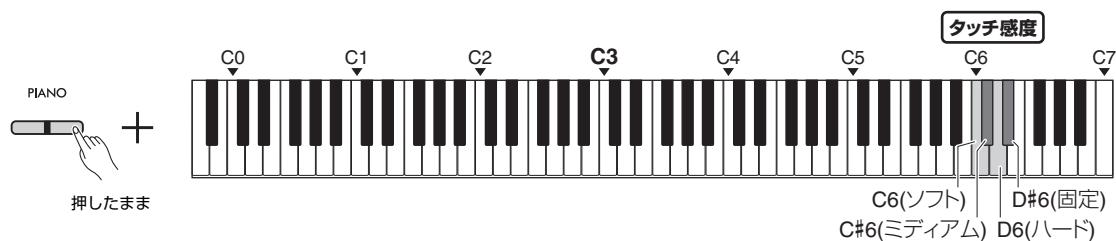
チューニング

楽器全体の音の高さを微調整する機能です。

ほかの楽器や音源などと合わせて演奏するときに、音の高さを正確に合わせられます。チューニングを440.0、442.0Hz以外に設定したい場合は、[METRONOME]ボタンと[RHYTHM]ボタンを押したまま、[-]または[+]ボタンを押します。

初期設定：440.0Hz

タッチ感度を設定する



鍵盤を弾く強さを変えた時の、音の強弱の付き方(タッチ感度)を変えられます。

鍵盤の重さ自体は変わりません。

ソフト、ミディアム、ハード、固定の4つからお好みのタッチ感度を選べます。

ただし、オルガン、ハープシコードの音色では、タッチ感度による音の強弱がつかません。

初期設定：ミディアム

演奏を録音する

演奏を1曲録音し、ユーザーソングとしてこの楽器に保存できます。

ご注意

- ・録音できるユーザーソングは1曲だけです。録音済みユーザーソングがある状態で録音すると、録音済みソングは上書きされます。録音前に[▶/■](再生/停止)ボタンを押して、録音済みソングの有無を確認しましょう。ある場合は、ソングが再生されます。

録音する

- 1 録音の前に、音色やメトロノーム、リズムなどを設定します。

- 2 [●](録音)ボタンを押して録音待機状態にします。

録音を中止するには、もう一度[●]ボタンを押します。



- ③ 鍵盤を弾くか[▶/■](再生/停止)ボタンを押して録音を開始します。

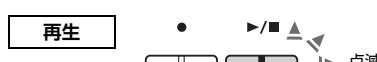
リズムをスタートさせても録音を開始できます。



- 4 演奏が終わったら、[●]または[▶/■]ボタンを押して録音を停止します。



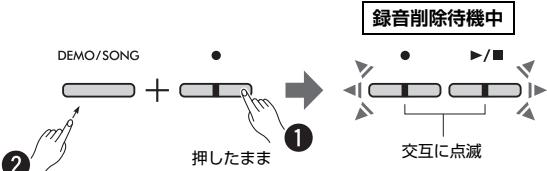
- 5 [▶/■]ボタンを押して録音したユーザーソングを再生してみましょう。



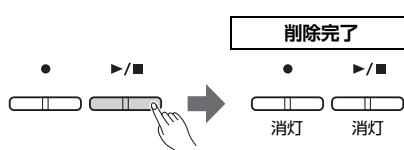
ユーザーソングを削除する

- 1 [●]ボタンを押したまま[DEMO/SONG]ボタンを押して削除待機状態にします。

削除を中止するには、[●]ボタンを押します。



- 2 [▶/■]ボタンを押して削除します。



パートごとに録音する

RパートまたはLパートのどちらかを選んで録音できます。

1. [●]ボタンを押したまま[R]または[L]ボタンを押して、録音待機状態にします。[●]ボタンが点滅します。

ご注意

- ・[▶/■]ボタンも点滅した場合は、どちらかのパートにすでに録音データがあります。誤って上書きしないため、パートごとに再生して(18ページ)、RまたはLパートに録音されていないか確認してください。

2. 鍵盤を弾くか[▶/■]ボタンを押して録音を開始します。

3. 演奏が終わったら、「●」または「▶/■」ボタンを押して録音を停止します。

4. 「▶/■」ボタンを押して再生してみましょう。

どちらかのパートだけ録音し直したい場合は、手順1からやり直します。

他の機器と接続する

△ 注意

- 他の機器と接続するときは、すべての機器の電源を切った上で行ってください。また、電源を入/切する前に、必ず機器のボリュームを最小(0)にしてください。感電、聴力障害または機器の損傷のおそれがあります。

[NOTE]

- 以下の機器以外の接続については、12ページをご覧ください。

スマートデバイスアプリを使う

この楽器に対応した以下のスマートデバイスアプリを使って、もっと便利に楽器を楽しみましょう。

アプリの詳細や対応するスマートデバイスの詳細は、下記ウェブ

サイトの各アプリのページでご確認ください。

<https://jp.yamaha.com/kbdapps/>



スマートピアニスト

この楽器に搭載されたさまざまな機能を、スマートデバイスの画面を見ながら簡単に操作できます。

楽器とスマートデバイスの接続方法や、アプリの使い方については、スマートピアニストユーザーガイドをご覧ください。

スマートピアニスト ユーザーガイド

<https://manual.yamaha.com/mi/app/smartpianist/>



Rec' n' Share

楽器演奏の撮影、録音、編集から、SNSなどへのアップロードまで、簡単に行うことができます。

楽器とスマートデバイスとの接続には、市販のUSBケーブル(ABタイプ)とスマートデバイスのコネクター形状に合った変換アダプターが必要です。接続方法の詳細は、ヤマハウェブサイト(本書3ページ記載)上の「スマートデバイス接続マニュアル」をご覧ください。

Bluetooth対応機器のオーディオ再生音を楽器のスピーカーで聞く

機能を使う前に、必ず9ページの「Bluetoothに関するお知らせ」をお読みください。

この楽器とスマートフォンや携帯オーディオプレーヤーなどのBluetooth対応機器を接続すると、その機器で再生するオーディオデータをこの楽器のスピーカーで鳴らせます。

[NOTE]

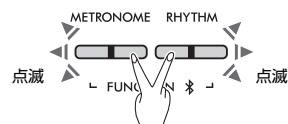
- この楽器からBluetooth対応機器にオーディオデータを送信することはできません。
- BluetoothヘッドホンやBluetoothスピーカーは接続できないため、使えません。
- 以下の手順で楽器とBluetooth対応機器を接続しても、スマートピアニストなどのアプリは使えません。

1 [METRONOME]ボタンと[RHYTHM]ボタンを同時に3秒押して、Bluetooth対応機器とのペアリング*を始めます。

*ペアリング：Bluetooth対応機器をこの楽器に登録し、無線通信できるように設定することをいいます。

ペアリングを中止するには、いずれかのボタンを押します。

ペアリング中



2 Bluetooth対応機器のBluetooth機能をオンにし、接続先リストから「P-225 AUDIO」を選ぶと、接続が完了します。

この操作は、[METRONOME]ボタンと[RHYTHM]ボタンが点滅している間に行ってください。

3 Bluetooth対応機器でオーディオデータを再生し、楽器のスピーカーから鳴らしてみましょう。

困ったときは

現象	原因と解決方法
[](スタンバイ/オン)スイッチを押して電源を入れたとき、または切ったとき、ポツンという音がする。	本体に電流が流れるためです。異常ではありません。
電源が入らない。	電源アダプターは正しく接続されていますか。電源アダプターを本体とコンセントに確実に差し込んでください(13ページ)。
電源が自動的に切れる。	オートパワーオフ機能(13ページ)が働いたためです。オートパワーオフ機能を使いたくない場合は、機能を解除してください。
スピーカー / ヘッドホンから雑音が出る	楽器の近くで携帯電話を使用していませんか。携帯電話の電源を切るか楽器から離れて使用してください。 スマートデバイスのアプリと一緒に使用している場合は、スマートデバイスの機内モードをオンにしてお使いいただくことをおすすめします。
全体的に音が小さい。まったく音が出ない。	本体スピーカーの設定がオフになっていますか。 詳細は、ヤマハウェブサイト(本書3ページ記載)上の「リファレンスマニュアル」をご覧ください。 [PHONES]端子(10ページ)にヘッドホン、または変換アダプターが接続されていますか。 ローカルコントロールの設定がオンになっていますか。 詳細は、ヤマハウェブサイト(本書3ページ記載)上の「リファレンスマニュアル」をご覧ください。
[VOLUME]スライダーで音量を変えても、ヘッドホンの音量が変わらない。	外部スピーカーの音量を「固定」に設定していませんか。「運動」に設定してください。 詳細は、ヤマハウェブサイト(本書3ページ記載)上の「リファレンスマニュアル」をご覧ください。
鍵盤を弾くと、機構音がカタカタ鳴る。	この楽器の鍵盤機構は、ピアノの鍵盤機構をシミュレートして設計されています。ピアノの場合でも機構音は実際に出ているものです。異常ではありません。
特定の音域でピアノ音色の音の高さ、音質がおかしい。	異常ではありません。ピアノ音色では、ピアノ本来の音ができる限り忠実に再現しようとしています。その結果、音域により倍音が強調されて聞こえるなど、音の高さや音域が異質に感じる場合があります。
ペダルが効かない。	ペダルコードのプラグが[SUSTAIN]端子/[PEDAL UNIT]端子(12ページ)に確実に接続されているか確認してください。
フットスイッチ(サステイン)のオン/オフが逆になった。(フットスイッチを踏むと音がカットされ、離すとサステインが効く)	フットスイッチ(12ページ)を踏みながら電源を入れたため、フットスイッチの極性が逆になっています。電源を切り、フットスイッチを踏まずに、もう一度電源を入れ直してください。
Bluetooth対応機器とペアリングまたは接続ができない。	Bluetooth機能がオフになっていますか。「オン」に設定してください。 詳細は、ヤマハウェブサイト(本書3ページ記載)上の「リファレンスマニュアル」をご覧ください。 Bluetooth経由で接続するには、はじめに機器同士をペアリングする必要があります(22ページ) 2.4GHz帯の電磁波を発するもの(電子レンジ、無線LAN機器など)が近くにある場合は、電磁波を発するものからこの楽器を離してください。
DAW(Digital Audio Workstation)などの音楽制作用アプリケーションと一緒に使用したとき、ハウリングしたり、大きな音がしたりする。	音がループしています。オーディオループバックをオフにするか、DAWのモニター機能をオフにしてください。オーディオループバックの詳細は、ヤマハウェブサイト(本書3ページ記載)上の「リファレンスマニュアル」をご覧ください。

下記ウェブサイトの「よくあるお問い合わせ(Q&A)」もご確認ください。



<https://yamaha.io/faq-jp-piano>

それでも解決しない場合は、裏表紙に記載の「電子ピアノ・キーボードご相談窓口」へお問い合わせください。

仕様

品名	電子ピアノ			
サイズ/質量	寸法	幅×奥行き×高さ	1,326 mm × 272 mm × 129 mm	
	質量		11.5 kg	
操作子	鍵盤	鍵盤数	88鍵	
		鍵盤種	グレードハンマーコンパクト (GHC) 鍵盤 黒鍵マット仕上げ	
		タッチ感度	ハード/ミディアム/ソフト/固定	
	パネル	言語	英語	
音源/音色	音源	ピアノ音	ヤマハ CFXサンプリング	
	ピアノ音源の効果	バーチャル・レジナンス・モデリング ライト (VRM Lite)	○	
		キーオフサンプリング	○	
	最大同時発音数		192	
	プリセット	音色数	24	
効果/機能	タイプ	リバーブ	4種類	
		ウォールEQ	○	
		インテリジェント・アコースティック・コントロール (IAC)	○	
		ステレオフォニックオプティマイザー	○	
		サウンドブースト	2種類	
	ファンクション	デュアル	○	
		スプリット	○	
		デュオ	○	
リズム	プリセット	リズム数	20	
録音/再生 (MIDIソング)	プリセット	内蔵曲数	音色デモ 21 + クラシック曲 50	
	録音	曲数	1	
		トラック数	2	
		データ容量	1曲 約100 KB(約11,000 音符)	
全体設定		メトロノーム	○	
		テンポ	5~280	
		トランスポーズ	-6~0~-6	
		チューニング	414.8~440.0~466.8 Hz (約0.2 Hz単位)	
		USBオーディオインターフェース機能	44.1 kHz、24 bit、ステレオ	
Bluetooth接続 (オーディオ受信のみ)		Bluetoothバージョン	5.0	
		対応プロファイル	A2DP	
		対応コーデック	SBC	
		無線出力	Bluetooth class 2	
		最大通信距離	約10 m	
		無線周波数	2,401~2,481 MHz	
		最大出力電力	4 dBm	
		変調方式	GFSK	
接続端子		DC IN	12 V	
		ヘッドホン	ステレオ標準フォーン端子(×2)	
		サステインペダル	○	
		AUX OUT	L/L+R、R	
		PEDAL UNIT	○	
		USB TO HOST	○(MIDI/オーディオ)	
音響	アンプ出力	7 W × 2		
	スピーカー	楕円 (12 cm × 8 cm) × 2 + 5 cm × 2		
電源部	電源アダプター	PA-150B、またはヤマハ推奨の同等品(出力: DC 12 V、1.5 A)		
	消費電力	9 W(電源アダプター PA-150B使用時)		
	オートパワーオフ	○		
付属品		<ul style="list-style-type: none"> ・取扱説明書 ・クラシック名曲50選(楽譜集) ・保証書 ・製品登録のご案内 ・譜面立て ・フットスイッチ ・電源アダプター (PA-150Bまたはヤマハ推奨の同等品) 		
別売品		<ul style="list-style-type: none"> ・ヘッドホン(HPH-50/HPH-100/HPH-150) ・フットスイッチ(FC4A/FC5) ・フットペダル(FC3A) ・ペダルユニット(LP-1) ・電源アダプター (PA-150Bまたはヤマハ推奨の同等品) ・キーボードスタンド(L-200) ・キーボードソフトケース(SC-KB851) ・ワイヤレスMIDIアダプター(UD-BT01) 		

※本書は、発行時点での最新仕様で説明しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

索引

A	
AUX OUT	12
B	
Bluetooth	9, 22
R	
Rec' n' Share	22
U	
USB TO HOST	12
イ	
インテリジェント・アコースティック・コントロール	27
印入り口	19
ウ	
ウォールEQ	27
エ	
エンディング	19
オ	
オートパワーオフ	13
音量	13
音量(メトロノーム)	17
音量(リズム)	19
キ	
曲	18
ク	
クイックオペレーションガイド	3
クイックプレイ	18
クラシック名曲50選	18, 26
くり返し再生	18
ケ	
鍵盤操作音	14
コ	
困ったときは	23
コンピューター	12
コンピューターとつなぐ	3
サ	
再生	18, 18
再生(音色デモ曲)	16
サウンドブースト	20
削除	21
シ	
初期化	14
ス	
スピーカー	11
スプリット	15
スマートデバイス	12
スマートデバイス接続マニュアル	3
スマートピアニスト	22
スマートピアニスト ユーザーガイド	3, 22
ソ	
ソング	18, 26
タ	
タッチ感度	20
チ	
チューニング	20
テ	
デモ曲リスト	16
デュアル	15
デュオ	16
電源	13
電源アダプター	13
テンポ(メトロノーム)	17
テンポ(リズム)	19
ト	
トランスポーズ(移調)	20
ネ	
音色	15
音色デモ	16
音色リスト	15
ハ	
バージョン	27
パート	18, 21
パート録音	21
バックアップ	14
伴奏	19
ヒ	
拍子	17
フ	
付属品	4
フットスイッチ	12
譜面立て	4
ヘ	
ベース音	19
ペダルユニット	12
ヘッドホン	10
メ	
メトロノーム	17
メトロノーム音量	17
ユ	
ユーザーソング	21
リ	
リズム	19, 26
リズム音量	19
リバーブ	27
リファレンスマニュアル	3
ロ	
録音	21, 21

ソング/リズム一覧

クラシック名曲50選

番号	鍵盤	曲名	作曲者
アレンジ曲			
1	C2	カノン	J. パッヘルベル
2	C#2	G線上のアリア	J. S. バッハ
3	D2	主よ、人の望みの喜びよ	J. S. バッハ
4	D#2	きらきら星	トラディショナル
5	E2	ピアノソナタ 第17番 「テンペスト」第3楽章	L. v. ベートーヴェン
6	F2	歓喜の歌	L. v. ベートーヴェン
7	F#2	子守唄	F. P. シューベルト
8	G2	華麗なる大円舞曲	F. F. ショパン
9	G#2	英雄ポロネーズ	F. F. ショパン
10	A2	ラ・カンパネラ	F. リスト
11	A#2	愛のあいさつ	E. エルガー
12	B2	家路	A. ドヴォルザーク
13	C3	シリエンヌ	G. U. フォーレ
14	C#3	月の光	C. A. ドビュッシー
15	D3	木星(組曲「惑星」)	G. ホルスト
連弾曲			
16	D#3	メヌエット(アイネ・クライネ・ナハトムジーク)	W. A. モーツアルト
17	E3	メヌエットト長調	L. v. ベートーヴェン
18	F3	トルコ行進曲	L. v. ベートーヴェン
19	F#3	ピアノ協奏曲 第1番 第2楽章	F. F. ショパン
20	G3	くるみ割り人形メドレー	P. I. チャイコフスキイ
原曲			
21	G#3	前奏曲(平均律第1巻第1番)	J. S. バッハ
22	A3	メヌエットト長調	J. S. バッハ
23	A#3	ピアノソナタ 第15番 第1楽章	W. A. モーツアルト
24	B3	トルコ行進曲	W. A. モーツアルト
25	C4	ピアノソナタ 第8番「悲愴」 第2楽章	L. v. ベートーヴェン
26	C#4	エリーゼのために	L. v. ベートーヴェン
27	D4	ピアノソナタ 第14番「月光」 第1楽章	L. v. ベートーヴェン
28	D#4	即興曲 作品90 第2番	F. P. シューベルト
29	E4	春の歌	J. L. F. メンデルスゾーン
30	F4	幻想即興曲	F. F. ショパン
31	F#4	別れの曲	F. F. ショパン
32	G4	革命のエチュード	F. F. ショパン
33	G#4	小犬のワルツ	F. F. ショパン
34	A4	ノクターン 第2番 変ホ長調	F. F. ショパン
35	A#4	ノクターン 第20番 変ハ短調 [遺作]	F. F. ショパン
36	B4	トロイメライ	R. シューマン
37	C5	舟歌	P. I. チャイコフスキイ
38	C#5	乙女の祈り	T. バダジェフスカ
39	D5	愛の夢 第3番	F. リスト
40	D#5	花の歌	G. ラング
41	E5	ユーモレスク	A. ドヴォルザーク
42	F5	アリエッタ	E. H. グリーグ
43	F#5	タンゴ(スペインより)	I. アルベニス
44	G5	エンターテイナー	S. ジョプリン
45	G#5	メイプル・リーフ・ラグ	S. ジョプリン
46	A5	亜麻色の髪の乙女	C. A. ドビュッシー
47	A#5	アラベスク 第1番	C. A. ドビュッシー
48	B5	ケーキウォーター	C. A. ドビュッシー
49	C6	ジュトゥヴ	E. サティ
50	C#6	ジムノペディ 第1番	E. サティ

リズム一覧

カテゴリ名	鍵盤	リズム名
ポップ&ロック	F2	8ビート
	F#2	16ビート
	G2	シャッフル1
	G#2	シャッフル2
	A2	シャッフル3
	A#2	ゴスペル
	B2	8ビートバラード
	C3	6-8スローロック
ジャズ	C#3	ファストジャズ
	D3	スロージャズ
	D#3	スイング
	E3	ジャズワルツ
ラテン	F3	サンバ
	F#3	ボサノバ
	G3	ルンバ
	G#3	サルサ
キッズ&ホリディ	A3	キッズポップ
	A#3	6-8マーチ
	B3	クリスマススイング
	C4	クリスマス3-4

P-225 全機能/操作の紹介

RM : ヤマハウェブサイト(本書3ページ記載)上の「リファレンスマニュアル」をご覧ください。

楽器全般に関する機能

◆ オートパワーオフ ▶ 13ページ	
オートパワーオフ機能の有効/無効を切り替える	RM
◆ インテリジェント・アコースティック・コントロール(IAC) ▶ RM	
IACの効果のかかり具合を設定する	RM
◆ 本体スピーカー設定 ▶ 11ページ	
◆ 鍵盤操作音設定 ▶ 14ページ	
◆ バックアップと初期化 ▶ 14ページ	
◆ 楽器のバージョン確認 ▶ RM 楽器のバージョンを音声で確認できます。	

◆ メトロノーム ▶ 17ページ	
現在のテンポ読み上げ(英語)	RM
テンポ設定	
拍子設定	
音量設定	

演奏に関する機能

◆ 音色選択 ▶ 15ページ	
◆ [+BASS]ボタンでの音色選択(スプリット：右手と左手で違う音色を弾く) ▶ 15ページ	
左手側にベース以外の音色を選ぶ	RM
鍵盤の分かれ目(スプリットポイント)を変更する	
各音色のオクターブを上げる/下げる	
2音色の音量バランスをとる	
◆ デュアル ▶ 15ページ	
各音色のオクターブを上げる/下げる	RM
2音色の音量バランスをとる	
◆ デュオ ▶ 16ページ	
左右の鍵域のオクターブを上げる/下げる	RM
左右の鍵域の音量バランスをとる	
左右のスピーカーからの音の鳴らし方を設定する(デュオタイプ)	
◆ 音色デモ曲再生 ▶ 16ページ	
◆ パーチャル・レゾナンス・モデリング ライト(VRM Lite) ▶ RM アコースティックピアノ特有の複雑な共鳴音を再現した技術です。	
◆ サウンドブースト ▶ 20ページ	
サウンドブーストタイプを選ぶ	RM
◆ トランスポーズ ▶ 20ページ	
◆ チューニング ▶ 20ページ	
◆ ウォールEQ ▶ RM 壁のそばに置いた状態でも、音がこもりにくくなります。	
◆ タッチ感度 ▶ 20ページ	
タッチ感度を選ぶ	RM
◆ リバーブ ▶ RM 演奏音にコンサートホールなどで弾いているような残響効果を加えます。	
リバーブの深さを調節する	RM

◆ 曲(ソング)再生 ▶ 18ページ	
1曲をくり返し再生する	18ページ
再生中に曲を変更する	
再生中にテンポを変更する	
再生中に曲の先頭に戻る	
右手または左手パートを消音して再生する	RM

◆ リズム ▶ 19ページ	
現在のテンポ読み上げ(英語)	RM
ベース音、イントロ/エンディングの設定	
テンポ設定	
リズムの種類	
音量設定	

◆ 録音 ▶ 21ページ	
録音する	21ページ
パートごとに録音する	
ユーザーソングを削除する	
パートを選んで削除する	
ユーザーソングの設定を書き換える	RM

◆ 他の機器との接続 ▶ 10、12、22ページ	
ヘッドホンを使う	RM
フットスイッチや別売のペダルユニットを使う	
外部スピーカーを使う	
コンピューターやスマートデバイスと接続する	
スマートデバイスアプリを使う	22ページ
Bluetooth対応機器のオーディオ再生音を楽器のスピーカーで聞く	
コントロールチェンジ送受信のオン/オフを設定する	

◆ MIDIに関する操作	
MIDI送信/受信チャンネルを設定する	RM
ローカルコントロールのオン/オフを設定する	
プログラムチェンジ送受信のオン/オフを設定する	
コントロールチェンジ送受信のオン/オフを設定する	

Apache License 2.0

Copyright (c) 2009-2018 Arm Limited. All rights reserved.

SPDX-License-Identifier: Apache-2.0

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the License); you may not use this file except in compliance with the License.

You may obtain a copy of the License at
www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an AS IS BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.

See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

Modified BSD license

COPYRIGHT(c) 2016 STMicroelectronics

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of STMicroelectronics nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

メモ

メモ

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げの販売店、または下記の修理ご相談センターへご連絡ください。

●保証書

本製品には保証書が付いています。

「販売店印・お買い上げ日」が記入されている場合は、記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。記入されていない場合は、購入を証明する書類(領収書、納品書など)とあわせて、大切に保管してください。

●保証期間

保証書をご覧ください。

●保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

有寿命部品については、使用時間や使用環境などにより劣化しやすいため、消耗劣化に応じて部品の交換が必要となります。有寿命部品の交換は、お買い上げの販売店、または修理ご相談センターへご相談ください。

●有寿命部品の例

ボリュームコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、ドラムパッドなど

●補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造終了後8年です。

●修理のご依頼

まず本書の「困ったときは」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または修理ご相談センターへご連絡ください。

●製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、品番などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

◆修理に関するお問い合わせ

修理ご相談センター

フリーダイヤル

 0120-149-808

携帯電話、IP電話からは

050-3852-4106

受付

月曜日～金曜日 10:00～17:00 (祝日、センター指定の休日を除く)

FAX

東日本(北海道/東北/関東/甲信越/東海) 03-5762-2125

西日本(北陸/近畿/中国/四国/九州/沖縄) 06-6649-9340

◆修理品お持込み窓口

受付 月曜日～金曜日 10:00～17:00 (祝日、センター指定の休日を除く)

* お電話は、修理ご相談センターでお受けします。

東日本サービスセンター

〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目 1-1 JMT 京浜 E 棟 A-5F

FAX 03-5762-2125

西日本サービスセンター

〒556-0011 大阪市浪速区難波中1丁目 13-17 ナンバ辻本ビル 7F

FAX 06-6649-9340

*名称、住所、電話番号、営業時間などは変更になる場合があります。

◆電子ピアノの仕様や取り扱いに関するお問い合わせ

お買い上げの販売店、または下記のお客様コミュニケーションセンターへお問い合わせください。

お客様コミュニケーションセンター 電子ピアノ・キーボードご相談窓口

フリーダイヤル **0120-139-808**

携帯電話、IP電話からは **050-3852-4079**

受付 月曜日～金曜日 10:00～17:00(祝日、センター指定の休日を除く)

<https://jp.yamaha.com/support/>



ヤマハ楽器音響製品お客様サポート

LINE公式アカウント

◆ウェブサイトのご案内

ヤマハ株式会社ホームページ <https://jp.yamaha.com/>

ヤマハ ピアノ・電子ピアノサイト <https://jp.yamaha.com/piano/>

ヤマハ サポート・お問い合わせ <https://jp.yamaha.com/support/>

ヤマハミュージックデータショップ <https://yamahamusicdata.jp/>

ヤマハ株式会社

〒430-8650 静岡県浜松市中央区中沢町10-1

※都合により、住所、電話番号、名称、営業時間などが変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

